

6月2日 明正のツバメが巣立っていきました。朝、塾の鍵を開ける時に、じょうろとブラシを持って学志館の巣の下の糞を掃除するのが日課でありました。今年は5個の卵の内3個が孵化し、無事巣立っていきましたが、親鳥の2か月間の子育ての様子を見ていると本当に感心いたします。天敵のカラスが学志館に近付いてくると、ヒナを守る為、親鳥は自分より何十倍もの大きさのカラスにひるむことなく猛然と立ち向かっていくのです。子どものためなら自分の命を顧みない覚悟。その気迫に、カラスは負けるのでしょね。親のありがたさ、動物から学ぶことができます。



動物から学ぶと言えば、立命館大学の学長が言っていたのですが、「強い生物が生き残るのではなく、環境の変化に対応できた生物が生き残る。地球史上最強の恐竜は絶滅してしまったけれど、弱くても変化に対応できた生物が生き残っていく。その事実から学ぶことは、自分を変えられるということが大切なのだ。」とのこと。そういえば自分以外のものを自分が思うように変えることは不可能であるのですから、自分が変わるしか道はないと気づきます。これからの世の中、異常気象や温暖化問題、そしてコロナと、今までの生活を変化せざるを得ないこととなりました。

昨年の大学入試にしても、都会の大学の受験者数は減少した一方、地方の大学の受験者数は増加傾向でありました。また、国公立大学も推薦入試枠が増え、その受験スタイルとしては、共通テストと小論文やプレゼンテーションが課されています。これまでの、一つの試験会場で多数の生徒を一斉に受験させるというスタイルが、コロナの影響で変化し始めたのです。そして、共通テストには、いずれ記述式が採用されることとなっています。とにかく文章を書く能力は必須となってくると思います。いま、小中学生に書いてもらっている中日春秋の書き写し、一回も提出しない生徒と毎回提出する生徒、3年後に変わっているのはどちらの生徒でしょう。

文章を書く能力、文章を読み取る能力は、国語だけでなく他の科目にも必要です。高校生の皆さんには、この夏を利用し、ブロードバンド予備校での国語力強化(高1・2生は『テーマ別攻略 基礎現代文』、高3生は『共通テストレベル現代文』)をお勧めします。夏限定の無料おためし講座も上手に活用して、充実した夏を送ってください。

小学生・中学生の皆さんは、夏休み期間を利用して「ことばの学校」で読書をしてほしいと思います。特殊なパソコンソフトを使って、朗読速度を変えながら本を読むことで、脳のトレーニングになります。一冊でも多くの本に触れて、豊かな心を育ててください。

連絡事項

【算数・数学検定】

申込締め切り 7月14日(火) 検定日 8月28日(土)

※希望者は、申込用紙に検定料を添えて申し込んでください。締め切り厳守

